

一般質問



9月9日～11日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載で、内容は各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。

観光振興の今後に向けて



山崎一郎議員

問 拡張工事を実施中の、「道の駅花の駅千曲川」の場所は、飯山の四季を展望出来る最高のロケーションなので、コロナ収束後を見据え、アウトドアの情報発信基地にしてはとの市民提案がある。また、併せて千曲川流域の安心・安全のために防災ステーション機能を併設させてはどうか。

答 提案のあった「アウトドアの情報発信基地」と「防災ステーション」を併設する案については検討を進めている。「防災ステーション」設置に向け機会ある毎に国へ要望している。

駅前ホテルの建設について

問 誘致に取り組んで5年経過したが採算性から実現しないわけで、客室50室等の条件を再検討し実現を目差すべきではないか。

答 新型コロナウイルスによりホテル業界も大きな打撃を受けているが、こうした状況を踏まえ規模等を含め実現可能な要件について検討中である。

問 いつまでどんな取組みをするのか示すべきと思う。

答 今年中に規模等要件の見直しについてまとめたい。

新たな学校づくり



高山恒夫議員

問 北部地域の振興からも答申どおり小学校は南北2校が最終形と理解するが。

答 旧村地域で学校を支える歴史、伝統、文化を分離せず、地域の継続と活性化の道を残す小学校配置が子どもたちと地域にとってベストと考える。

男女共同参画計画

問 市の女性管理職は0人だが組織に問題はないか。

答 女性活躍推進法に基づき、特定事業主行動計画として、女性係長相当職を増やし将来への人材育成に取組んでいる。

公職選挙法の改正

問 市は市長・市議選での「選挙運動用自動車」の公費負担を認めないが。

答 財政的な負担を伴うため広く研究したい。

コロナ禍での人権教育の実践

問 不当な差別、誹謗中傷をなくするため今こそ人権教育の実践が必要。

答 学校における学習や家庭へのメッセージはもちろん、市報等で啓発をより進めていきたい。

台風シーズンの災害対策について



岸田眞紀議員

問 昨年の災害時に多く寄せられた問題点に、情報収集とその発信の遅れについて多くの指摘があったが、どのような対策を検討したのか。

答 まず対策本部体制を見直した。理事者、部長が集まる対策本部を市役所4階に設け、雨量、河川水位、現場映像等確認できるモニターを設置。区や消防団と協力して樋門・樋管の開閉状況を把握するなど、情報収集と指示伝達が同一会場で行える形とした。

問 災害時の情報発信に重要な「防災無線」の取り付けの進捗状況はどうか。

答 本年度は戸別受信機を7月から配布し、9月4日までの配布済み数は1017件。年内には各戸への設置を終えたい。

問 特別定額給付金の対象外となる新生児を対象に出生特別給付金を給付されるが、人口減少対策として来年度以降も継続を提案する。

答 今回は子育て応援事業として国の臨時交付金を活用。人口対策の観点で財源の課題も検討する中で事業実施を継続できればと考える。

令和元年台風第19号災害の早期復旧を願って



久保田幸治議員

問 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の内容は。

答 台風第19号災害を踏まえ、国、県、流域市町村が連携し3つの取り組みを実施する。①治水対策の推進②浸水被害軽減対策③減災に向けた取り組み。

問 皿川改修の今後の計画は。

答 皿川樋門から英岩寺橋までの約600mの区間について左右両岸の堤防をかさ上げする計画、令和3年度の事業化に向け河川整備計画の見直しを進める予定と聞いている。

問 市内遊水地の設置について、現在どのような状況か。

答 4月に市から上組、中山根、伍位野の3区へ遊水地候補地として位置づけられていることを説明させていただいた。6月には、千曲川緊急治水対策出張所から3区長に概要説明が行われ、現在は、遊水地整備の調査検討を行っている状況。

問 企業誘致、移住支援事業について来年度以降も継続する考えは。

答 来年度以降も事業化された制度を継続し、企業誘致等を進めたいと考えている。

道の駅の活性化について



西澤一彦議員

問 道の駅花の駅千曲川は、全国的に見てもロケーションが素晴らしく、日本一の大河千曲川、菜の花公園が眺望でき、年間100万人以上が訪れる。リニューアルオープン後、どう観光に活かすのか。

答 従来の機能に加え、アウトドアスポーツの拠点、情報発信の基地として活用するなど様々な観点から検討したい。

問 各部門が縦割りではなく、掛け算で相乗効果上がる感動のおもてなしが大切。道の駅に対する考え方を根本的に変えてゆく必要があると考える。

答 時代に合わせ、ニーズの変化を捉え、各部門を連携・融合させ、相乗効果を生む道の駅を目指していきたい。

有害鳥獣対策について

問 前回対策の実態を質問したところ、小型鳥獣捕獲講習会を開催いただき、多くの方が受講され小動物の捕獲が可能になった。また、鳥獣被害対策実施隊が設置されることに感謝するが活動内容は。

答 クマ、イノシシ等が、住宅地周辺に出没した場合に捕獲対応を中心に考えている。

水防計画、避難が困難な人の避難計画が必要



松本淳一議員

問 水防計画が作られた。洪水時に一番重要なことは、避難準備・高齢者避難開始の的確な発令にある。基準は何か。

答 千曲川飯山水位観測所の水位9mが基準。状況を総合判断して避難準備を発令する。

問 県は立花での避難判断水位を9.1mから7.5mに引き下げたが市はどう考えるか。

答 飯山市も避難勧告基準を早急に改定し周知していく。

問 市が避難行動に支援が必要と考えている人は何人か。

答 避難行動要支援者名簿に記載されている353名。

問 市の名簿に載らない支援が必要な人についてはどうか。

答 地域で災害時住民支え合いマップを作る時に取り組みをお願いしている。

問 避難に支援が必要な人については、市がスキー場周辺の民間施設に避難所になってもらう協力を求められないか。

答 避難先は原則として、市指定の避難所に避難していたが、避難行動要支援者は三百数十名おり、市が個別対応するには無理がある。地域での対応、協力をお願いしたい。

安心安全なまちづくりについて



吉越利明議員

問 7月豪雨災害の対応は。各区分長や活性化センター、農業者からの連絡やパトロールを行い職員による現場調査を行った。7月専決予算で復旧工事を進めている。

答 コロナ禍の避難所対応は、検温や手指消毒の徹底、パーティションの設置を行う他、車中避難も検討した。結婚生活への取組状況は、本年4月より婚活事業を杜協へ二元化し結婚相談員等と連携して推進を図っている。

問 結婚や出産、子育てについて支援強化が必要に思うが。

答 財源等の課題も検討する中で、事業実施に向けて計画をしていければと考える。

問 観光対策について

答 新型コロナウイルスに関する市内事業者への取組みは、飲食店等感染防止対策事業において感染予防対策経費に対し補助を行っている。

問 低迷した観光客増加に向け取組と今後の考えは。

答 国内へ目を向けた観光誘客の推進とアウトドアアクティビティの活用で、地域経済が活性化できるよう進めたい。

コロナウイルス感染症と政治姿勢について



小林喜美治議員

◆政治姿勢について

問 コロナウイルスはまだまだ終息の目途が見えない。いまだ日本の政治や経済体制、社会のあり方が問われている。安倍政権が辞任して、新しい内閣が発足した。「森友・加計」桜を見る会「疑惑」など政治の私物化、消費税導入による市民生活の圧迫、立憲主義、民主主義府を踏みにじる暴挙などの安倍政権について。

答 経済至上主義に走った結果、コロナウイルス感染症などの問題では極めて脆弱な社会であることが浮き彫りにされた。経済・社会のあり方も考える機会となっている。

◆地方創生交付金の2次補正

問 国の2次補正における事業が進められている。事業者支援の強化や福祉事業の拡充など国の基準ではなく、市独自の支援制度の事業の拡充が必要と思うがどうか。

答 持続化給付金について、飯山市は国の基準に準じての制度となっている。市独自の国の基準をこえての制度については、今後の国・県の動向を見ながら検討していきたい。

自治体の基礎体力は人口



上松永林議員

新型コロナウイルス対応について



水野正彦議員

飯山市農業の明日を考える



佐藤正夫議員

令和元年度決算について



渡辺美智子議員

水害時、国庫補助を最大限活用し農地を守る



飯田健一議員

一般質問

◆奨学金について
問 医師奨学金と育英奨学金の返済支援制度は。
答 医師奨学金は市内医療機関に従事すること、育英奨学金は県の教員になることで返済の優遇が受けられる。
問 スポーツ奨学金の創設を。課題もあるが、求められる施策である。検討する。
◆市民サービスについて
問 コンビニでの税金等の納付や証明書交付は都会では当たり前だが、飯山市の状況は。
答 市税等の納付や住民票等証明書交付は提携のコンビニであれば全国で可能。証明書交付にはマイナンバーカードが必要。
◆人口増施策について
問 自治体の基礎体力は人口。市営住宅建設の考え方は。
答 低所得者・中間層・若者・移住者向けの住宅がある。建設には利便性を考慮している。
問 旧城南中跡地は住宅地として開発してはどうか。
答 住宅地としての開発も含め活用の検討を進める。
問 各種の支援施策をまとめガイドブックを製作しては。
答 良い考えだ。実施したい。

問 安心な地域であるために感染予防を学ぶ研修会を開催し、その受講ステッカーをお店や施設に掲示する対応を提案するが、どうか。
答 安心してお客様にお越しいただくために宿泊施設や地域で感染予防について具体的に学んでいくことは重要。感染防止の啓発活動や広報は引き続き推進する必要がある。正しい知識と感染防止対策について学び実践することを行うことが肝要であり、研修会の開催と研修を受けたことを証明するステッカーの交付などについて検討したい。
問 コロナ収束後を見据えた観光振興と民宿観光について率直な受け止めをお聞きする。
答 教育旅行の自然体験教室、ヒップホップファミリークラブの子どもや青少年のための旅行メニューは、戸狩観光協会と民宿の人たちが長年かけて開発してきたもので、他では真似出来ない。他の大きな温泉観光地では出来ないメニューを開発しながらの取り組みが強みになる。メニュー開発などの点で支援をしていきたい。

問 地域農業の将来を描き、リードできる行政とは別の民間感覚を持った組織が必要だ。
答 飯山市にとって農業は重要であり儲かる産業にしたい。経済だけでなく農地保全等、公共に供する役割もあるので「農地・人・作物・流通」を考える専門家会議による研究会を早急に立ち上げ検討する。議員が提案する組織についても検討して行きたい。
問 荒廃農地を出さないための取り組みに助成が必要だ。
答 復旧農地への振興作物作付けには補助があるが、荒廃させない取り組みへの助成は何かできるか研究したい。
問 農地災害復旧の地元負担を拒否される例がある。補助率の引き下げの検討が必要だ。
答 復旧には所有者の承諾が必要。拒否されることが増える事も考えられるので他市町村を参考に検討して行きたい。
◆住みやすい地域づくり
問 冬期間の「けだし」の道路確保の研究は進んでいるか。
答 電気式融雪マットの設置費やランニングコストへの支援ができるか検討している。

問 当初予算編成からみて、総合的にどう評価し来年度事業に近づけていくか。
答 健全な財政運営が確保できた。後期基本計画の中間年4つの重点目標を基に3か年計画、来年度予算を考える。
問 歳入の税収が前年度比マイナスになっている。特に法人市民税のマイナスの要因は何か。30年度は大きな変動がない中で減収、令和元年度は消費税増税台風災害、寡雪、令和2年度はコロナウイルスにより、市町村民税減が考えられる。どう対処するのか。
答 上位5社の1割近い減収が要因。約25億円の市税の内約1億5千万円が法人分。補助制度、有利起債の活用等を含め歳入の確保を図る。
問 飯山市独自の事業継続支援給付金の対象は売り上げが5割減少と国基準と同じ。これを緩和している中野市等は3割減から対象にしている。検討できないか。
答 国の基準による。その他に市内の消費喚起のため40割プレミアム付き商品券を発行している。

問 農地が災害にあった場合、速やかに市へ連絡し手続してもらえば国庫補助による災害復旧事業を受けられるか。
答 災害対応であること、復旧に関わる工費が40万円以上であること等の採択基準を満たしていれば、国庫補助対象となる。被害があっても採択基準を満たさなければ、市単独事業となる。
問 河川敷でもよいか。
答 堤外民有耕作地または河川法の許可を得た耕作地であれば、国庫補助対象となる。
問 稲わらも市単独事業でなく、国庫補助を活用するか。
答 国から堆積稲わら対策について国庫補助が示されれば、その事業を活用していきたい。
◆地域おこし協力隊制度の活用で観光農業推進を
問 数人の農業就農希望者を募集してもらい、地域おこし協力隊員の活躍する場を設けてもらいたいと思うがどうか。
答 単に労働力として見込むだけでは対象にならないが、制度に合致し受け入れ態勢が整うことであれば、個別に企画財政課に相談いただきたい。

「千曲川治水学習会」を開催

10月20日議会活動の一環として「千曲川治水学習会」を開催しました。
 国土交通省千曲川緊急治水対策出張所の西出保所長から、国土交通省の進めている「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」について、長野県北信建設事務所の松林孝文整備課長から「県管理の千曲川治水計画（台風19号による災害復旧工事等の進捗状況）」についてそれぞれご説明をいただきました。



の国道292号の道路事業については、遊水地事業と連携して進めたい。
【質問】 静間地籍の堤防計画の概要はどうか。
【説明】 現在設計検討中。プロジェクトにあるとおり令和6年度を目途に実施したい。
【質問】 戸狩の河道掘削の場所と規模はどうか。また、湯滝橋付近と大関橋前後の張り出しの掘削も必要と思うが。
【説明】 戸狩地籍先の河道掘削については、近年においても実施しており、定期的に河道断面を確認し、河道掘削・立木の伐採を行っている。今後も計画的に実施して行く。河道掘削の推進に当たっては、上下流のバランスを十分考慮した整備が必要で、段階的・効率的な掘削計画を検討している。

- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
- 河川整備基本方針と河川整備計画
- 千曲川改修事業の歴史
- 千曲川の地形的特徴
- 信濃川水系の河川整備イメージ（上中流の整備メニュー）
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
- ・主要対策の進め方
- ・ロードマップ
- マイ・タイムライン
- 県管理の千曲川治水計画
- 台風19号にかかる北信建設事務所管内の復旧状況

○信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの一環として長野県が行う堤防整備と内水対策ソフト対策事業（危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置と県管理中小河川浸水想定区間図の作成）
【質問】 蓮地籍での遊水地の整備計画と古牧橋の架け替えとの関係はどうなるのか。
【説明】 遊水地の整備は、現在千曲川の上流を含めて5カ所の遊水地全体で設計検討している。検討案をとりまとめた後に地元の方々に提示したい。古牧橋の架け替えに伴う蓮地籍

の国道292号の道路事業については、遊水地事業と連携して進めたい。
【質問】 静間地籍の堤防計画の概要はどうか。
【説明】 現在設計検討中。プロジェクトにあるとおり令和6年度を目途に実施したい。
【質問】 戸狩の河道掘削の場所と規模はどうか。また、湯滝橋付近と大関橋前後の張り出しの掘削も必要と思うが。
【説明】 戸狩地籍先の河道掘削については、近年においても実施しており、定期的に河道断面を確認し、河道掘削・立木の伐採を行っている。今後も計画的に実施して行く。河道掘削の推進に当たっては、上下流のバランスを十分考慮した整備が必要で、段階的・効率的な掘削計画を検討している。

議会活性化特別委員会から

10月15日に議会活性化特別委員会を開催し、9月定例会において制定した「議会基本条例」に基づく議会活動の実践について、全議員で確認、討論を行った。その後分科会に分かれて、具体的な検討事項について協議を行う。

◆議会あり方分科会
 ①本会議における質疑
 8月臨時会より新方式により実施、課題（質疑の範囲、回数制限等）について協議。
 ②委員会審査のあり方
 各委員会審査は、付託されている議案審査のほか、各課の事業について調査研究を行う所管事務調査の実施について協議。
 ③一般質問発言通告
 一般質問の項目が市民に伝わるような方法を検討。
 ④議会のタブレット端末導入
 導入効果等について研究を行う。

◆広報広聴分科会
 ①市民との意見交換会
 意見交換会の実施方法について協議。
 ②本会議の動画配信
 一般質問等のインターネットによる動画配信について協議。

本会議を傍聴する方へお願い
 （新型コロナウイルス感染拡大防止について）

本会議については「iネット飯山」で放送しております。本会議を傍聴する方は、席の間隔をあけてお座りいただき、必ずマスクを着用ください。（入場者数の制限あり）

◆招集・議会構成 11月30日(月)

◆議案上程 12月1日(火)

◆一般質問 12月9日(水)

◆各常任委員会審査 14日(月)

◆委員長報告・採決 16日(水)

21日(月)